

埼玉県の中学生113名が雪国の除雪を学習しました

4月20日(木)、埼玉県本庄市の本庄東高等学校附属中学校1年生113名が湯沢道路ステーションに来訪し、除雪について学びました。この学習は、平成18年度から毎年行われており、今回で12回目の実施となりました。

雪とはほぼ無縁な地域に生活している皆さんに、雪国の冬の暮らしを支える除雪作業の重要性や、高い除雪の技術力を学んでいただきました。

特に好評だったのは除雪機械の試乗体験で、普段見慣れない巨大な黄色い車両に目を輝かせながら車体や自身の身長と同じくらいのタイヤに触れてみたり、除雪機械に搭乗して実際に運転しているような様子でハンドルやレバーを握っていました。

この学習を通して色々な質問や、真剣な眼差し、笑顔を見れて職員及び除雪業者さんも元気ももらいました。

【湯沢維持出張所】



【除雪の重要性、降積雪記録等を説明】



【実際の除雪作業状況を映像で学習】



【デモンストレーションを交えた用途説明】



【除雪機械への体験乗車】

ヘリコプターによる雪崩パトロールを行いました

湯沢維持出張所管内では雪どけが進んだ4月下旬に、斜面に残った雪の状況を把握するためヘリコプターによる雪崩パトロールを行っています。今シーズンは4月24日(月)に実施しました。

パトロールは新潟大学名誉教授 和泉薫先生に同乗頂いて、現地状況を確認頂きながら実施しました。

パトロールの結果は、数箇所では処理が必要な雪の塊が確認されましたが、それらを処理すれば国道17号の雪崩の危険はないということで確認を頂きました。

雪崩対策、斜面雪処理、パトロールの適切な実施により、トラブル無く春を迎えることができました。

【湯沢維持出張所】



【貝掛地区】



【ほくりく号にてパトロール出発】



【芝原地区】

【ヘリコプターから見る斜面状況】

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

ちよーこく 検索

携帯版



スマホ版

